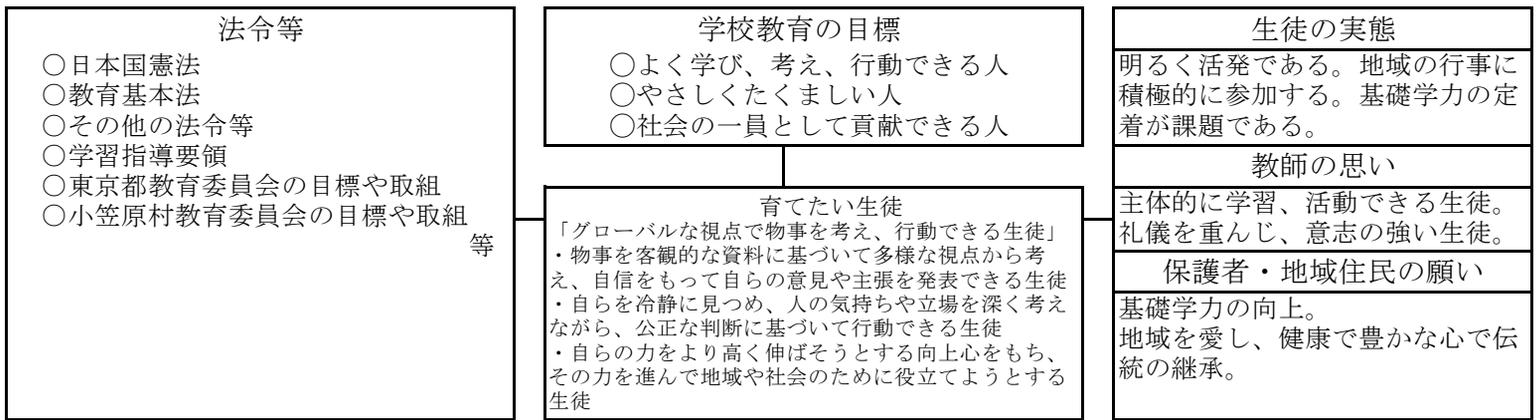


令和4年度 体育・健康に関する指導 全体計画

小笠原村立小笠原中学校



体育・健康に関する指導の全体目標

○様々な運動の楽しさを味わわせることにより、基本的な運動技能の向上と運動の日常化を図る。
 ○日常生活における健康や安全について理解させ、健康の保持増進を図り、楽しく明るい生活を営もうとする態度を育てるとともに基本的な生活習慣を身に付けさせる。

体育・健康に関する指導で目指す生徒像

- 自ら主体的に、夢中になって運動に取り組む生徒
- 自らの体力に関心を持ち、それを伸ばそうとする生徒
- 自らの健康を気遣い、規則正しい生活をする生徒
- 生涯にわたって運動やスポーツに関わろうとする生徒

関係する各教科	
国語	○言語力を高め、スポーツの場面などで様々な人と関わる能力を養う。
社会	○世界地理や世界史を通して国際理解を深め、様々な国に興味をもたせることで海外のスポーツへの関心へとつなげさせる。
数学	○自らの能力値を統計して整理し、活用できるようにさせる。 ○自らの運動強度を計算で割り出すなど、運動の目標をつくれるようにさせる。
理科	○力のはたらき方やエネルギーの基礎について理解することで、運動のしくみについて関心をもたせる。
音楽	○様々な音楽に触れることでリズム感を養い、効率よく運動ができる能力を養う。 ○舞台芸術の鑑賞を通して、音楽と身体表現との関わりに興味・関心をもたせる。
技術・家庭	○家庭科において生涯健康な生活を送るための望ましい食習慣や生活習慣を学び、健康な生活を送ろうとする態度を養う。
美術	○人の動作や姿勢を鑑賞し、スケッチすることで客観的に人の身体のしくみについて考えさせる。
外国語	○様々な国の言語や文化について理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図る態度とコミュニケーション能力の基礎を養う。

保健体育科

○体育分野において、興味・関心を引く授業を展開し、運動を好きにさせる。また、生徒の体力向上に向けて授業を計画・実施し、生涯健康に生活を送る基礎を作る。
 ○保健分野において、健康に対する関心を高め、生活習慣の見直しや改善を図る。

部活動

○運動部に所属している生徒は主体的に運動することで体力向上につなげる。また、所属する部活動への興味と関心を一層高め、生涯その運動に携わる態度を養う。
 ○文化部では、用具の準備や後片付けの際の事故や怪我の防止など、安全に留意する態度を育てる。

学校行事

○遠泳大会や運動会、ロードレース大会等の行事を通して運動への関心を高め、運動の日常化や体力の向上を目指す。
 ○遠泳大会やロードレース大会では、事前の健康調査を全生徒に実施することで自らの健康状態を知る機会とし、運動の日常化や、健康を気遣う態度を養う。

学校保健

○食育や食育通信を通じて食と健康についての深い関連性を理解させ、正しい食生活を送る態度を養う。
 ○養護教諭が全生徒と面談を行い、生活習慣や食習慣、心の健康状態などのチェックをし、自らの健康状態を知ることによって改善しようとする態度を養う。

体力テスト、運動習慣調査の結果

○体力テストの結果は全国平均に比べ多くの項目で上回っている。女子は20mシャトルランと立ち幅跳びの結果が全国平均を下回っていた。男子は1年が握力、3年は立ち幅跳びで全国の平均を下回っていた。

地域社会・異校種との連携

- 小・中・高連合運動会や父母学習交流会などの実施。
- 小・中・高教科交流会を通して異校種との情報交換。

令和4年度 体育・健康に関する指導 指導計画

小笠原村立小笠原中学校

月	行 事	各教科授業	道徳授業	総合的な学習	特別活動・他
4					
5		体力テスト 外国人にインタ ビュー(英語) 剣道(保健体育)		修学旅行(3年)	
6	ふれあい月間 生活アンケート	水泳(保健体育)	A-(1) 自主・自律		
7		運動とエネルギー (理科)			遠泳大会 父母交流会
8					
9		ダンス(保健体育)			
10			B-(6) 思いやり D-(19) 生命尊重		小中高連合運動会
11	ふれあい月間 生活アンケート				
12		陸上競技(保健体育)		自己理解(1年)	
1		陸上競技(保健体育)	A-(2) 節度・調和の ある生活		ロードレース大会
2	ふれあい月間 生活アンケート				
3					

※道徳授業のアルファベットと番号は、道徳の内容項目の指導の観点を示している。